

そらこめ通信

No.59 2015年6月号

このたびは弊社の米をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。日頃よりご愛顧頂いております皆様にはこの場を借りて厚くお礼を申し上げます。

5月のGW明けから10日間ほど寒い日が続きましたが、5月半ばを過ぎると気温も少しずつ上昇、田植えを始めるには良い気候になりました。気温が上がり始めるのを待ち構えたように、沼田町近郊でも田植えを開始する農家が現れ始め、やがて全町あげての本格的な田植えシーズンに突入しました。

弊社では、5月19日に田植機の試運転を兼ねた移植を実施したのち、20日から本格的な田植え作業に入りました。田植えの期間中は大きなトラブルもなく経過、26日夕刻、約1週間にわたる作業を無事終了しました。この間、精米作業が滞ったことなどから、皆様方には多大なご迷惑をおかけいたしましたこと、この場を借りて深くお詫び申し上げます。

昨年のブログをみると、田植えの開始が5月21日、終了が28日とあり、田植え作業に8日間を費やしているようです。ちなみに一昨年はというと、田植えの開始が5月26日、終了が6月3日で合計9日間でした。こうしてみると、毎年、一日ずつ作業日数が減っているのが判ります。作付面積はそれほど変わっていないのですが、昨年より新しい機械を導入したこともあり、作業効率が少しずつ上がっているのかも知れません。田植えの開始日が年々早くなっていることも気になる事のひとつです。雪解けが早いというのが大きな要因として挙げられますが、他方、降雪量が少ない事で、水不足の心配が出てきました。雪国の北海道では、到底考えられないことですが…。気象庁のデータでは、5月における沼田町の降水量は28日現在で40ミリ以下。自然が相手の商売ゆえ、「絶対」というキーワードは封印すべきなのかも知れません。



ダリアの移植作業(4月25日)



ハウスの保温効果を高める工夫(4月25日)



田起こし作業(4月28日)



小さな苗が顔を出しました(5月2日)



苗の散水作業(5月2日)



代かき作業(5月8日)



田植え作業(5月21日)



田植え機へ苗の補充(5月21日)



田植え作業のようす(5月21日)



木村家の庭に咲いていた芝桜(5月23日)



軽トラックで苗を運搬(5月23日)



苗のポットを洗う作業(5月23日)



田植え作業～「きたくりん」の圃場です(5月23日)



苗の補充(5月23日)



積み込んだ苗に散水を施す(5月23日)



田植え機は精密機械です(5月23日)



軽トラックに残った苗に散水(5月23日)

農業用機械、特に田植え機にあつてはまさに精密機械と言えるほどの代物です。そのため壊れやすいという難点もあります。田植え機を最初に発明した人は宮崎県の農民とか。明治時代中期の事らしいです。人力で行われた田植え作業は、当時から過酷な作業でした。何とか省力化を…という多くの農民の強い思いが、今日の農業機械などの発展をもたらしているのです。

今後も、安全で美味しいお米の生産に努めますので、引き続きご愛顧のほどよろしくお願いいたします。

(株)空知こめ工房 ホームページ

<http://www.sorachi-kome.jp/>
ブログ「生産日誌」更新中です

インターネットで美味しいお米!